

会議名	第3回旭川市教科書調査委員会会議		
日時	令和3年7月13日(火) 午後4時30分～午後5時30分	会場	旭川市教育委員会 会議室
出席	調査委員 福澤委員長, 本間副委員長, 小山田委員, 浪岡委員, 秋元委員 教育委員会 (事務局) 長井学務課主査		
会議の公開等	非公開とする。 理由: 公開することにより, 公正又は適正な意思形成に著しい障害が生じるおそれがあり, 公正で円滑な議事運営が著しく損なわれると認められるため		
議題	1 教科書の調査研究について		
議事内容 (主な論点)			
<p>1 教科書の調査研究について</p> <p>(1) 使用上の配慮について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲を高める工夫がされている点 <ul style="list-style-type: none"> ・北海道と北東北に縄文遺跡が密集していることを取り上げ, 出土した漆塗土器や土偶の写真を掲載している点。 ・アイヌの人たちが行っていた交易について取り上げ, 地図や資料を掲載して交易の範囲や交易品について説明している点。 ○学習に主体的に取り組むことができるよう工夫されている点 <ul style="list-style-type: none"> ・「チャレンジ」で単元の学習の終わりに振り返る活動を設定している点。 ・「人物クローズアップコラム」で学習内容を深める工夫がされている点。 ○学習しやすいよう配慮されている点 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の使い方について説明するページを設けている点。 ・子どものキャラクターが登場して問いかけや説明をしている点。 <p>(2) 指導上の配慮について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域素材の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人々の交易や文化 ・北方領土 ○ICTの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・「調べ学習のページ」に調査方法の1つとしてインターネットの活用を紹介 ○小中連携による指導 <ul style="list-style-type: none"> ・序章で小学校で学習した歴史上の人物を振り返る活動を設定 ・各章の扉に「登場人物紹介コーナー」を設け, 小学校で学習した人物を中心に構成した年表を配置 <p>(3) 本市生徒の学習の状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・章末に時代や人物の特徴などについて複数の視点で比較する「時代比較の問題」や「人物比較の問題」, 歴史上の人物の考え方の相違点等について話し合う「意見交換会」のコーナーを設定している。 ○複数の資料から適切な資料を選択したり, 資料を関連付けて情報を読み取る力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・章末の「調べ学習のページ」において, 写真や絵画などの資料から読み解くことができる歴史的な事象を紹介している。 ○既存の知識を関連付けて学習内容を深く理解し, 概念に関する知識として獲得できる力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・章末に各章で学習した知識の整理を行う「復習問題のページ」, 対話を通して時代を大観させ, まとめ図を通じて構造化する「対話とまとめ図のページ」を設定している。 			

(4) 取扱内容、内容の構成・配列、分量について

○取扱内容

- ・各章において、歴史的事象について考察したり意味や意義を理解したりするための活動が設定されている。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、明治維新の学習において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、当時の世界と日本の状況をもとに、日本が近代化を成功させた理由について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動を取り上げている。

○内容の構成・配列、分量等

- ・内容の構成・配列については、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。
- ・分量については、「歴史との対話」は12ページ、「近世までの日本とアジア」は130ページ、「近現代の日本と世界」は140ページ、その他は21ページで、総ページ数は303ページ。(前回より11パーセント増)

2 次回の調査委員会について

別紙様式1を含めた答申書の内容について、最終的な協議を行う。